

世界の言語と危機言語

科目責任者 笹原 健
学年・学期 1 学年・2 学期

I. 前 文

世界で話されている言語は4000とも6000とも言われ、きわめて多様である。本科目では、世界の言語とその系統を学び、その多様性を理解する。2学期はヨーロッパの言語に着目し、言語間の関係を言語接触の観点から俯瞰する。各自、任意の言語を選び、学期末にその言語について発表してもらう。

II. 担当教員

非常勤講師 笹原 健

III. 一般学習目標

・世界で話されている言語について理解する

IV. 学修の到達目標

- 1) 外国語についての関心を持つ
- 2) 言語に限らず、世界に目を向ける習慣を身につける
- 3) 自ら調べ、探求する楽しさを体験する

V. 授業計画及び方法 * () 内はアクティブラーニングの番号と種類

- (1: 反転授業の要素を含む授業 (知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。)
2: ディスカッション, デイバート 3: グループワーク 4: 実習, フィールドワーク 5: プレゼンテーション
6: その他 空欄: 該当なし)

| 回数 | 月 | 日 | 曜日 | 時限 | 講 義 テ ー マ | 担当者 | アクティブ ラーニング |
|----|---|----|----|----|---------------|------|----------------|
| 1 | 7 | 8 | 水 | 5 | 導入：ヨーロッパの言語 | 笹原 健 | 3 |
| 2 | | 15 | 水 | 5 | 外来語の諸相 | 笹原 健 | 1 |
| 3 | 8 | 19 | 水 | 5 | 言語接触 (1) | 笹原 健 | 1 |
| 4 | | 26 | 水 | 5 | 言語接触 (2) | 笹原 健 | 1 |
| 5 | 9 | 2 | 水 | 5 | 言語接触 (3) | 笹原 健 | 1 |
| 6 | | 9 | 水 | 5 | プレゼンテーションの準備 | 笹原 健 | 3 |
| 7 | | 9 | 水 | 6 | まとめのプレゼンテーション | 笹原 健 | 5 |

VI. 評価基準 (成績評価の方法・基準)

以下のとおり成績評価する。() 内は評価の割合。
授業への参加度 (100%)

VII. 教科書・参考図書・AV資料

適宜オンライン資料を用意する (LMSで公開)。

VIII. 質問への対応方法

授業の前後やLMSのメッセージ、または電子メールで受け付ける (k-sasahara@dokkyomed.ac.jp)。

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

| ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針） | |
|--|---|
| 医師としてのプロフェッショナリズム 幅広い教養、利他の精神、医師に求められる品格を身につけ、豊かな人間性を育み、他の医療者と協調して、多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる | ◎ |
| 能動的学修能力 医学知識・技能を主体的に学び、情報・科学技術を活用して、生涯にわたって自ら問題を発見し、解決することができる | ○ |
| 地域医療の理解 地域社会における医療の役割と、その中核を担う意味を理解できる | |
| 国際性 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し、課題解決に向けて行動することができる | ○ |
| リサーチマインド 研究活動における積極的な創造・発信に挑み、医学・医療の進歩に貢献することができる | ○ |

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

授業時に口頭で解説します。

XI. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

事前学習（20分）：LMSで事前の質問を出すので、必ず回答してから授業に臨むこと。

事後学習（30分）：LMSでコメントペーパーを提出し、与えられた課題に取り組む。

XII. コアカリ記号・番号

PR-03-01-02, PR-02-02-02